

恋愛マスターたちの文学

明治の歌壇をひっくり返した女神

一

与謝野晶子（1878-1942）

仕事、ファッション、恋愛 死角なしの色女

三五

宇野千代（1897-1996）

「子宮作家」ですが、何か？

六一

瀬戸内寂聴（1922-2021）

気づけば仕事は恋人

「名前のない女たち」を描いた人

九一

樋口一葉（1872-1896）

「親ガチャ」と努力と情熱が揃った天才

一二七

円地文子（1905-1986）

「エフォートレス」な語り部として生きる

一四三

向田邦子（1929-1981）

見過ごされた鬼才作家

一六九

有吉佐和子（1931-1984）

我が道を往く

「ノマド生活」は甘くない

一九五

林芙美子（1903-1951）

「低収入独身女子」の希望

二一九

森茉莉（1903-1987）

素人の美学を極めた「遅咲き」代表

二四三

幸田文（1904-1990）

おわりに

二六七

引用・主要参考文献

二六九